広装協 NEWS
2018年10月　5号（通巻72号）

広島県室内装飾事業協同組合
〒733-0003
広島市西区三篠町1丁目7番4号
TEL 082-239-9281　FAX 082-239-9282
URL　http://hirosokyo.jp
発行責任者　広報委員会委員長
小　林　　修

7月の西日本豪雨で被災された方には、改めて心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧・復興をお祈り致します。

平成30年度技能検定に挑む

今年度の広島県技能検定は、プラスチック系床仕上げ、木質系床仕上げ、壁装及び3年毎に実施のカーペット系仕上げ、加えて本年度より日装連が協力して新設された化粧フィルム工事の計5職種について実技・学科各検定試験が7月～9月に掛けて実施された。組合では検定に先立って6月～8月にトライアルを実技・学科共に実施した。7月7日実施の化粧フィルム実技トライアルは、前夜の西日本豪雨で高速道路も通行止めが相次ぎ、遠方からの受講者数名が参加出来ない事態も発生した（後日追加開催）。プラ床、カーペット、化粧フィルムの実技トライアルについては、他組合へ熟練の講師派遣要請をして、より確かな検定対応の技術を習得して頂けるように努めた。

検定実技は通常の仕事とは違う作業手順、ルールまた制限時間もある事で、各職種について熟練の技能者であっても、トライアル等で練習を充分行わないと中々合格は叶わない。また技能士である事のメリットも良く議論されるが、建設業キャリアアップシステムも運用が近づく中で、技能者の技量の“見える化”が進み技能士か否かも大きなポイントである。1級技能士は登録内装仕上工事基幹技能者講習受講の受験要件の一つであり、基幹技能者講習を受講すると、先の建設業キャリアアップシステム上では技能者としての最高位レベル4の評価を受ける事が決定しており、技能士資格の重要性が改めて見直される事になる。

組合では来年1月、3月に31年度前期の技能検定及びトライアル実施の案内を行う予定である。技能検定の結果については下記の通り。

職　種	受検者	合格者	備　考
プラスチック床　1級	4	3	学科のみ合格者2
プラスチック床　2級	1	1	
カーペット　1級	2	1	
木質系床　1級	1	0	
木質系床　2級	1	1	実技のみ合格者1
壁装　1級	7	4	学科のみ合格者3
化粧フィルム　1級	8	8	学科のみ合格者1
化粧フィルム　2級	1	1	
合　計	25	19	1科目のみ合格者7

<壁 装>

<プラスチック系床>

<カーペット工事検定台>

＜化粧フィルム＞

＜木質系床＞

平成30年度技能検定合格者

番号	職種	級	氏名	事業所（紹介者）	備考
1	壁装	1	甲　斐　康　雅	甲斐内装（竹内装飾㈱）	
2	プラ床	1	原　田　靖　隆	㈱マルケン装飾	実技免除
3	プラ床	2	花　田　晃　槻	竹内装飾㈱	
4	カーペット	1	山　本　達　人	山本装飾（㈱装匠）	
5	化粧フィルム	1	吉　永　浩　司	㈱first	
6	化粧フィルム	1	濵　田　　誠	㈱インテリア誠（竹内装飾㈱）	
7	化粧フィルム	1	濵　田　隆　司	㈱インテリア誠（竹内装飾㈱）	
8	化粧フィルム	1	西　河　孔　二	㈱インテリア誠（竹内装飾㈱）	
9	化粧フィルム	1	上野谷　生　明	プロテック（竹内装飾㈱）	
10	化粧フィルム	1	平　野　哲　利	平野装飾（㈱マルケン装飾）	
11	化粧フィルム	1	山　本　達　人	山本装飾（㈱装匠）	
12	化粧フィルム	2	濵　田　良　汰	㈱日本パーカーライジング広島工場（㈱装匠）	

※実技・学科両方合格者を記載
※敬称略

防火壁装・防炎業務講習を開催

講師：岡田展政副理事長

講師：青山理事

８月８日に広島RCC文化センターに於いて、新規組合加入者を中心に19名に対して防火壁装・防炎業務講習を開催した。３年毎の更新講習の間の講習で、今迄は不定期で実施していたが、今後は毎年夏に開催に努め組合加入後に出来る限り講習を待たせず、また更新講習を受け損ねた方の救済が出来る様にした。防火壁装講習は昨年日装連の講師養成講習会を受講した岡田展政副理事長、青山和之理事が講師を務め、防炎業務講習は事務局が行った。

昨年、日装連作成でパワーポイント版「防火壁装の知識を身につけるために」が出来たので、従来のテキスト「防火壁装の知識」と合せる事で初めての方でも“防火壁装”について理解し易くなった様である。

春夏秋冬

フィルターで隠された労働力不足

副理事長　濱　本　宏　和

万華鏡は、内部に鏡を貼った筒を通して、移動するビーズなどの着色された再編を見ることを楽しむ玩具の一種である。かつては、万華鏡、百色眼鏡（ひゃくいろめがね）ともよばれた。東京に出張に出かけてみると、多くの外国人に出会う。それは、人気の観光スポットももちろんであるが、意外にも渋谷のスクランブル交差点で多く見受けられる。彼らには、赤信号から青信号に代わると同時に多くの人が横断歩道を誰ともぶつからずに渡りきる様が実に興味深いのだと言う。カメラでは何を撮ったかとアンケートを取ると、ウォシュレット付の公衆トイレや、駅の時刻表や路線図なのだ。年間十二万本運行する東海道新幹線の平均遅延時間はわずか36秒。その技術力は、世界中から注目の的らしい。

別の場所でも多くの外国人に出会う。夜のコンビニ、居酒屋だ。それはお客としてではなく、従業員としてである。居酒屋での彼女たちの接客はたいしたものだ。片言な日本語ではあるが、本日のお勧めの商品はどうか、グラスがあけば、追加の飲み物はどうかとタイミングよく進めてくる。どのくらいの期間でここまで教育できるのだろうかと、感心せざるをえない。外国人観光客とは対照的に外国人労働者として日本に来ている彼女たちにはどのように日本の国は映っているのだろう。見ず知らずの異国の地で。何かしらのフィルターをかけて少し違った見え方で捉えていないだろうか？日本での仕事をどこかで押し付けているように私には思えて仕方ないからであろうか？。一日も早く労働力不足の問題を自らの手で解決しなければならない。

彼女たちもいつかは、母国に帰る日が来るであろうが、その時に日本での生活が“きらきら”と輝いた日々であったと感じてもらえるように切に願う。

西日本豪雨災害ボランティア活動に参加して

㈲マキタエンタープライズ　　槇　田　幸一郎

「はい！あと２分！頑張って下さい」
「了解！頑張りまーす！」

去る８月21日に広島組合有志による豪雨災害のボランティア活動に参加させていただきました。親会・青年部会が合同で25名が集まりました。

我々は豪雨災害から約１ヶ月半が過ぎた状況で活動することになり、行く先は当初予定の東広島市から、未だ復旧が進んでいない安芸郡坂町へと変更しました。坂町災害たすけあいセンターで活動受付と説明を聞いた後に、この辺りで最も被害の大きかった小屋浦地区へ移動しての作業となりました。小屋浦地区のボランティアステーションとして、夏休み中の小屋浦小学校が宛がわれていましたが、校庭ではショベルカーとダンプカーが行き交い、付近から集められた土砂は、山の様にうず高く積まれていました。当初は付近の道路にも住宅の庭にも、歩くのがままならない程に土砂があったとの事ですが、毎日50名から最大500名のボランティアの手が入り、ここまで復旧したとの事です。

作業は家屋や庭に流れ込んだ土砂の撤去です。“10分作業、10分休憩”ということで冒頭のような会話になりました。お盆明けとは言え、午後からは気温は35度を超えていました。災害後すぐの連日猛暑の時から作業に当たられた方々には本当に頭が下がります。ある程度土砂を掘り進めていくと、流れて来たと思われる、肥料の袋、石、木や枝が出たりします。また掘っていけば、まだ湿り気のある泥のような、臭いのある土砂もたくさん出てきます。午後に入ってからの土砂撤去作業はきつく、10分でも作業が続きませんでした。日頃は体力自慢で最初は掛け声をあげていたメンバーも、最後には声も出なくなり、ただうなだれて黙々と手を動かすばかりでした。

そんな中で印象的だったのは、現地のセンターの方、ステーションの方、住人の方、他のボランティアの方、皆様とてもよく挨拶をされることでした。「ご苦労様です」「ありがとうございます」と何度も挨拶が交わされました。大変な状況下ではありますが、声を掛けるという事はとても大切な事であると改めて感じました。活動に参加させていただき、まだまだ雪が積もるかのように土砂があることを目の当たりにし、自然の脅威を感じながらも、人々の努力や絆を感じる事が出来ました。一刻も早い復旧とその後の復興が進む事を祈りつつ、それらに関わる内装工事で貢献が出来ればとの思いを強くしました。

※８月25日にも第２陣23名が同地を訪れました。

平成30年度中国ブロック会開催

9月7日に今年度の中国ブロック会を山口県下関市の東京第一ホテル下関で開催した。当会議は岡山、山口、島根、鳥取、広島の5県組合が毎年一回一堂に会してブロックとしての共通課題について審議、協議し、また親睦を深める事も目的としている。今回は日装連から小坂田達朗理事長、金本幾雄専務理事にお越しいただき、中国5県組合の三役、事務局を中心に計26名の参加となった。開会に際して竹内剛ブロック会長（広島組合理事長）、日装連小坂田達朗理事長の挨拶があり、先の西日本豪雨災害で被災された方へのお見舞いとブロック会として日装連からのお見舞金へのお礼がなされた。

竹内会長を議長に審議事項に入り、中国ブロック会の「平成29年度収支決算報告･監査報告」「平成30年度収支予算案報告」2件は満場一致で承認された。協議事項では最初に日装連の金本幾夫専務理事から日装連委員会活動について報告がなされた。引き続き「法定福利費計上の実態」「建設キャリアアップシステムへの登録状況」「技能検定（化粧フィルム）の今後の対応」について5県の状況報告と活発な意見交換を行なった。また事前に遣り取りを行った「日装連への質問・要望事項」については、金本専務理事から改めて回答があり、補足説明もなされた。主な要望事項として「内装仕上げ基幹技能者講習の中国地区開催（過去あまり開催されていない）」、「技能検定化粧フィルムの材料供給の仕方改善」「技能検定内装仕上げ・表装科目での3級設置⇒学生でも受検可」等を挙げた。

来年度のブロック会議は、島根県での開催が承認されて全ての議事は終了した。引き続き行われた懇親会も、各県組合間で歓談の輪が広がった。

カープ観戦記事

9月15日(土)にMAZDA ZoomZoomスタジアム広島にデイゲームで広島東洋カープ対中日ドラゴンズの試合を多くの組合員の方たちと観に行って来ました。今年も組合では一部チケット代負担の有料頒布案内を行ったところ、今年のCarpキャッチフレーズそのもので℃℃℃ドドォーと定員を超える多くの申込みがあった様です。天気の方はあいにく、雨が降ったり止んだりのイマイチの天気でしたが、相変わらず球場全体が真っ赤に染まって、熱い応援を繰り広げていました。試合の方は3回に5点を入れられましたが、その後同点に追いつく面白い試合でした。残念ながらその

後さらに２点を入れられ負けてしまいました。しかし、今シーズンもリーグ優勝は確実なものとなっております。球団史上初のリーグ３連覇は大したものだと思います。リーグ優勝の後はCSを勝ち抜き、今年は是非とも日本一になって新井選手の引退に花を添えてもらいたいと思います。

我々、広島県の内装業界もカープのように連戦連勝と行きたいところです。

また機会があれば組合員の皆様とカープを応援しに行きたいと思います。

㈱エヌエー　中島祥治

雨が降っても、
真っ赤か！

※９月26日にCarpは３連覇を達成しました。
おめでとうございます！

トピックス

○建設キャリアアップシステム

運用開始に向けたスケジュール見直し

システム稼働　30年度秋⇒31年度（４月以降）より本運用に変更

CCUS

平成30年8月10日
一般財団法人建設業振興基金
建設キャリアアップシステム事業推進センター

建設キャリアアップシステム
運用開始に向けたスケジュールの見直しについて

平素より、本財団の業務運営につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、本日開催しました「建設キャリアアップシステム運営協議会 第４回総会」におきまして、現場での運用開始に向けたスケジュールの見直しが決まりました。

具体的には、
平成31年の年明け以降、システムを利用できる現場を限った「限定運用」を開始し、
○平成31年度より、「本運用」を開始　いたします。

これまで、いち早く技能者登録、事業者登録の申請をしていただいた皆様並びに本年秋の運用開始を想定して準備を進めてこられた皆様には多大なご迷惑をおかけしますこと、心よりお詫び申し上げます。
今般の見直しは、建設キャリアアップシステムの設計・開発が当初想定よりも長期の時間を要していること、また、現場での運用開始後、混乱が生ずることなく、安心してご利用いただける環境を整えることが重要であることから行わせていただくものでございます。各位におかれましては、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
なお、現在配布中の登録申請書の手引及びポスター、チラシ、パンフレットなどにおいて、本年の秋に運用開始と記載しておりますので、順次、改訂して参ります。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。（なお、登録申請書の用紙そのものに変更はございませんので、そのままご使用いただけます。）

○「限定運用」とは、「本運用」の開始の前に、現場での運用で生じる様々なトラブルを検証し、その結果をシステムにフィードバックすることを目的として、システムを利用できる現場を限定して運用を行うものです。限定運用する現場については今後調整して参ります。
○現場運用に必要となるカードリーダーについては、8月下旬以降、随時、標準API連携認定審査受付サイト（https://www.auth.ccus.jp/）にて情報を公開いたします。
○現場運用の開始時期を平成31年度とすることに伴い、技能者登録料の割引措置（2,500円→2,000円）を平成31年3月末まで延長するとともに、管理者ID利用料及び現場利用料を平成31年3月末まで無料とさせていただきます。

（本日開催されました「建設キャリアアップシステム運営協議会 第４回総会」の資料につきましては、建設キャリアアップシステム専用ホームページ News Topics からご参照下さい。）

□本件に関するお問い合わせ先
建設キャリアアップシステムお問い合わせセンター
電話０３－６３８６－３７２５
受付時間　平日９時～１７時

以上

○材料費値上げについて

９月から順次材料費の値上げが始まっていますが、日装連では各メーカーに対して施主等への値上げへの理解を得る働きかけは、内装仕上げ業者と一緒になって行って貰える様に要請。

メーカー各位

取引価格改定に対するお願い

拝啓、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、日本室内装飾事業協同組合連合会の活動に格別のご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、各メーカー様から、価格改定のご連絡をいただきました。原材料、物流費、人件費等の高騰により、値上げを余儀なくされている状況にあることは、我々、内装仕上に携わる組合員も理解をしているところではあります。
しかしながら、この状況を施主・設計・ゼネコン・ハウスメーカー等の得意先様に対して、我々内装仕上業者からの説明だけで理解を得ることは非常に難しいと感じております。このままでは、見積価格に反映させることは誠に厳しく、我々に取って経営上の問題となる可能性を孕んでいると思われます。
是非とも、各メーカー様からも施主・設計・ゼネコン・ハウスメーカー等の川上と言われる得意先様に対しまして、書面の配布とともに十分な説明を行っていただき、我々内装仕上業者からの説明が得意先様の理解を得られますよう、ともに努力をしていただきたくお願いするものであります。業界全体の地位向上の為には、メーカー様と内装仕上業者が一体となって行動することが非常に重要であると思っております。

今後も、より良い環境を目指し努力して参る所存でございます。
何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具
平成30年8月
日本室内装飾事業協同組合連合会
理事長　小坂田　達朗

組合からのお知らせ

＜内装仕上工事基幹技能者　資格認定者＞

- ㈱しろがねや　　山　國　　豊
- インテリア谷増　　谷　増　賢　治

以上２名の方が７月に久留米会場にて認定されました。

行　事　予　定

○親睦ボーリング大会
西部：2018年11月７日(水)
於：広島パークレーン
東部：2018年11月22日(木)
於：福山キャッスルボウル

○組合新年互礼会　開催
2019年１月11日(金)18：00～20：00
於：ANAクラウンズホテル広島

○日装連ID研修　開催（内装士はID・インテリアデコレーターに改称されました）
2019年１月11日(金)16：00～17：30
於：ANAクラウンズホテル広島

＜行事予定・青年部会＞

○第35回ひろしま技能フェア・ひろしまものづくりフェスタ2018　出展
2018年11月14日(水)、15日(木)
於：県立広島産業会館西展示館

○体験授業　県立福山工業高校
2018年10月26日(金)、11月９日(金)

○体験授業　県立総合技術高校
2018年11月８日(木)、22日(木)

○卸街まつり　　広島市西区商工センター２丁目一帯
2018年12月１日(土)、２日(日)

新会員の紹介

（７月～９月）

★正組合員

- ㈱アイシム　　代表者　神　農　洪　明
  広島市東区福田2-350-1　TSKビル201号
- ㈱ワイズクラフト　　代表者　山　田　和　彦
  広島市東区東山町8-1-603
- ㈱あおの　　代表者　青　野　正　博
  広島市安佐北区亀山南5-13-25
- 翔インテリア㈱　　代表者　下和田　翔　太
  広島市安佐南区伴東7-38-39
- ㈱日本パーカーライジング広島工場
  代表者　中　山　文　宣
  広島市中区大手町2-8-4
- ㈱F-WORKS　　代表者　福　本　　勉
  広島市安佐南区祇園5-2-6

★准組合員

- ケイズプランニング　代表者　伊　藤　賢　二
  広島市西区田方3-909-1-815
- グリップ　　代表者　若　月　洋　二
  広島市安佐南区山本7-21-52-4
- インテリアKIMU子　代表者　木　村　修　二
  広島市安芸区矢野東2-27-11-206
- インテリアハウスフジモト
  代表者　藤　本　忠　洋
  広島市南区東雲2-17-17

編　集　後　記

発行責任者　広報委員会委員長　　小　林　　修

平成最後の夏、記録的な猛暑と西日本豪雨災害が襲い、広島県も各地で甚大な被害が出ました、被災された人々の生活再建が早期にかなうことを願うと同時に、我々は内装仕上げの仕事を通じて、今後の復興支援を支えて行きたいと思います。

10月より業界各メーカー様の商品の仕切り価格が大幅な値上げとなりました。原材料や物流費の値上げが、商品価格に転嫁された形となりましたが、この価格の値上げを、得意先である、建築関連各取引先に如何に理解してもらい、単価アップに繋げて貰うかが今後の大きな経営課題となります。とても自社で吸収できる価格でありませんのでメーカー、問屋、組合員が一致団結し業界を挙げて取り組んで行くことが大切であると思います。